

標記第議其一後、忙涼左記一通二有之

記

一、事業主側

工場主於テハ不況、為經濟困難、降下價ナリ要旨書ヲ提出
セシ職工等ヲ解雇シ根本的事業整理ヲ行フト、ナリ調停者
タル鈴木道吉シニテ之ヲ措置ヲ代理セシムヘク協議モシカ發
木ハ首領タル大正赤八團長森健二ト謀リ對象中ナルカ工場
主ハ七月九日従業員中闇木加盟者ノ決議文ノ提出ヲ機トシ工
場、解散ヲ發表シタル為争議團ニ引揚ゲタル又ノ約三十名ア
リタルカ其一ノ職工約二十名ノ調停者於テ他ノ工場ニ就
業、斡旋スル豫定ナリ

二、争議團側

従業員中闇木支持者ヲ中心トスル争議團、要求書(頭報)ハ
工場主ヨリ拒絶セシタルニヨリ他ノ未加入職工ヲ勧誘シ
ル為争議團本部トシテ

深川通西平井町六二(空家)

ヲ借受シ合ニ努メワ、アルニ歟派ニ屬スル約二十名ハ参加
セサル為、金員ヲ緩剎スルコト能ハス氣難揚ガサルモノアリ

三、交渉状況

硬派從業員タル闇木加盟者ニヨリ作製セシレタル要求書(既
報)ハ七月二日朝工場主ニ提出セルヲ会日後五時限返付シテ
レ更ニ翌三日宮崎外二十九名ヲ連署シ再提出セシム即時總裁
セシタルニヨリ前未急業、狀態ナリシテ七月九日工場内ニ
於集会協議、上別記、如キ決議文ヲ作製シ之ヲ工場主ニ提
出せんカ工場主ハ「此儘ニテハ今後ノ經營ヲ繼續スルノト不
可能ナル」付本日限リ工場ヲ解散スルト告ゲタルニヨリ前